

## 豊田地区まちづくり集会（H25.9.15開催）

### 豊田地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月15日（日）10:30～12:00

◎場 所 豊田生涯学習センター

◎出席団体数 15団体

快適環境づくり推進協議会、下関市豊田自治会連合会、下関市立豊田中学校PTA、下関市立豊田中小学校PTA、下関市豊田地区婦人会、下関市商工会豊田支部、豊田中いなほ倶楽部、下関市豊田地区民生児童委員協議会、下関市消防団豊田方面隊、豊田文化協会、豊田町認定農業者協議会、豊田町女性団体連絡協議会、豊田地区保健推進委員会、豊田町ふるさとづくり推進協議会、檜原ゆうあい会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一  
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也  
豊田総合支所地域政策課長：河島正

◎傍聴者 4名

◎次第

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会                 | 10:30～ |
| 2 部次長あいさつ             |        |
| 3 基本的な推進方向について        | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明       |        |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について           |        |
| （2）課題解決や活性化などについて     |        |
| （3）総括                 |        |
| 5 閉 会                 | 12:00  |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

## 豊田地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

### 【開催の様子】

9月15日に開催した豊田地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から15名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、豊田地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



### 【課題整理結果】

豊田地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

豊田地区まちづくり集会			9月15日 豊田地区まちづくり集会			№2 9月15日	
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
その他 総合支所長にもっと権限を （公募制）				その他 公共施設、跡地の管理・利用 問題			廃校舎を活用しては
環境 美しい自然を維持できている か		日当、終わって一杯で草刈 参加者増		長門・美祿との連携			
文化 生涯学習センターの運営 （協議会）				スポーツ 体育館、総合グラウンドを西市 に			豊田の中心になるような施 設を（予算を）
教育 競争力他							
産業 農業の後継者不足							
鳥獣被害							
その他 婦人の集まれる場所が欲しい							

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

下関市豊田自治連合会の会長をしています。

僭越ではございますけれども、司会進行を勤めさせていただきます。よろしくお願ひします。限られた時間でございますので、簡潔な質問でお願いをしたいと思います。

まずは、地域の課題を自由に出して頂きたいと思ひます。各団体でも結構ですし、地域でも結構ですが、出して頂きたいと思ひます。

発言される方は、一応、挙手をお願いしたいと思います。

時間の関係上、午前11時半くらいまでに発言を終えたいと思ひますので、よろしくお願ひをしたいと思います。

どういったことでも結構でございますので、一応こういう課題があると、色々な学校教育関係でも結構ですし、福祉関係、色々な地域の自治会内での課題、色々あると思ひます。

ご自由に、そういうことでも結構ですので、課題とか、気付きでもあればお願ひします。

【市民】

檜原ゆうあい会の事務局をしています。

地域内分権という言葉をはじめて聞いたのが、市長が豊田地区地域審議会にお見えになってお話になった時だと記憶しています。

その中で、地域審議会の皆さんは、かつての市議会議員であり、総合支所長は町長ですよという風におっしゃって帰られた。これは非常に理解しやすい言葉だなと思ひましたら、現実には、先ほどのご説明の中にもありましたように、縦割り行政と言ひますか、端的な例として、教育委員会が総合支所長の権限の中に入っていないという事があったようですね。

実際に一番大切なのは、この地域での教育なんです。例えば教育なんですけど、そういった権限が総合支所長の中に入っていない。或いは保健部は保健部長と相談しなければ前に進まない。こういう事があるので、地域では、なかなか課題が前に進んでいかない訳です。

市長がおっしゃったような地域内分権が、形として進んでいないという気がします。

具体的な例でお話ししますと、この西市地区に公民館を開設という要望を受けているにも関わらず、4年経過しても、まだ進んでいない。今、市議会では審議されていますが、6月定例会に上程されて、9月定例会に継続審議となっています。

こういうことが延々として続いていて、端的な例として、地域内分権が形になっていないんじゃないかというのが私の意見です。

あえて誤解を承知でお話をすれば、旧町の時のように、町長のような人が総合支所長に就く。だから総合支所長は公募で良いのではないかという気がします。

役職のポストとして、一部長がいるというよりは、オールマイティな権限を持った、4年間なりの公募で、かつての町長と同じような役割権限を持った人が就けば、地域内分権というものはかなり進んでいくと私は思ひます。以上です。

【司会】

ありがとうございました。次の課題を紹介いたします。

**【市民】**

商工会青年部から参加しました。

先ほどの、檜原ゆうあい会の方の発言に対しての質問で恐縮ですが、総合支所長を公募するという風なご意見であったのですが、どのような基準で、誰が選ぶのかによって、かなり変わってくると思うのです。

例えば、町長は選挙によって決められるので、自分たちが選んだ人ですから、その人に権限があっても良からうと思いますが、これが例えば、自分たちが選んでもない人に、それだけの権限を与えた場合、それが果たしてきちんと地域分権に結び付くかどうか、という事に、ははなはだ疑問を感じます。その辺りをどのようにお考えなのかお聞かせいただけますでしょうか。

**【市】**

会議の進め方として、最初に色々な課題を皆さんに挙げて頂いて、それに対する解決策を後から話し合う、ということで進めてまいりますので、一応、今のご発言は、解決策の一つとして後程、ご発言頂けたらと思います。

まず課題を出して頂きたいと思います。課題はスクリーンへ端的に表示して参りますので、よろしく願いいたします。

**【市民】**

課題という事ですので、私は、ふるさとづくり推進協議会と文化協会の2役をしております。文化協会からは別の方が参加していますが、まずは文化面について。

下関市政の大きな柱の中に、自然と文化と歴史という、そして人と交流が大きく柱になっている訳です。

豊田町は、まさに自然と歴史・文化、それから交流もですが、一番キャッチフレーズに相応しい所じゃあないかと、このように思っております。

それでは豊田町に課題が無いのかと言うと、全てにあります。

豊田町の自然といえばホテルです。豊田町は美しい自然、ホテルが舞いますが、本当に自然が守られているのかと言うと、皆さんからは、守られているからホテルが飛んでいるじゃないかと答えるのではないかと思います。

しかし、その辺をもう一度見直して、本当に美しい自然が維持できているか、そう考えていくと、豊田町には、やっぱり課題があるということになります。

皆が、下関市の自然といえば豊田町だから、一番にきれいな豊田町に行ってみようと思ってもらえる。

豊田町は、さすがに自然愛護の風潮が浸透している、という風にならないといけないのですが、現時点でそこまでの域に到達していない。ホテルを中心として、自然を守る、自然を維持するという意識がもう少し必要で、立派なイベント、ホテル祭りばかりではなく、それを契機として自然を守っていくという、課題解決に向っていく事が必要だと思えます。

それから、豊田町には、非常に文化の財産、資源が多い訳ですけれども、それらが守られているのかという事でいえば、寂しい限りです。

今は、どうなっているか分かりませんが、文化財保護審議会というのが以前は各町にありましたから、良く知っている人たちで、そういった文化財の維持管理といった問題点を協議していました。

今も、市には文化財審議会といったものが多分あるんだと思いますが、旧町単位にそういった審議会が無いので、そうすると非常に文化財が廃れていく。何百年、何千年と伝わってきた文化財が守られてない。廃れて。その辺が課題と言えば課題でしょう。

それから、今、文化協会がありますが、私は豊田町の文化施設と言えば生涯学習センターだと思いますし、恐らく町民もそう思っていると思いますが、生涯学習としてのセンターがこれで良いのかと言うことになってくる訳です。

色々と課題があります。施設の不備で、少し怪我をされたという方もおられるでしょうし、備え付けの器具が故障しているので修繕してもらおうと思っても、修繕に来てもらえないといった事もありました。

先ほど、公民館についても意見が出ましたが、豊田町の文化施設の見直しという事が一つの課題ではなかろうかと思えます。そうすると、この文化施設の中心であるこの生涯学習センターが、このような状況であることは寂しい限りです。立派などん帳があるのに、予算が無いとのことで修理もできない。こういったものは文化施設の中心、豊田の顔だと思うのですが、その顔が不十分、どん帳も不十分です。

今ある立派などん帳を、今度は薄いものに取り換える案もあると聞きましたが、そんなことでは無いと思えます。せつかく、立派などん帳がある訳ですから、なんとか修繕してでも残して頂きたい。

そういったことを協議する運営協議会、生涯学習センター運営協議会というものがあるかどうか良く知りませんが、お金が無いので、今は文化協会にこうして下さいとお願いをしている訳です。

しかし、こういった案件は、本来、1番最初に文化協会へ相談するのでは無く、まずは運営協議会での協議が必要ではないか、そのためには、やはり運営協議会というものが要るのではないかと思います。

運営協議会があるかどうかは分かりませんが、有るならばそこが機能していないということになりますし、無いのであれば作って頂きたい。

そういった文化施設の見直しというのが、地域の課題ではないかと思ひまして、市の大きなキャッチフレーズにもなっていますので、今の現状が、果たしてそれで本当に良いかどうかということも、もう一回検討して頂きたい。私は、十分では無いと思っています。

#### 【司会】

ありがとうございます。学校関係で何かございませぬか。一昨年、中学校が統合しましたし、小学校も4つある訳ですけども、住民が少ないということも、そのニーズもございしますが。その関係で皆さんご意見があれば。

#### 【市民】

豊田中学校PTAの会長をしています。

昨年、豊田西中学校と豊田東中学校が合併し、豊田中学校という形で運営しているので

すが、小学校の児童数は、殿居小学校が14名、豊田中小学校が24名であり、西市小学校と豊田下小学校が100名程度となっています。

先ほど、豊田町の教育についてのお話がありましたが、将来、子供たちの競争力を養っていく上で、果たしてこのままで良いのかと思います。

確かに、ゆとり教育という面では、少人数で教育を受けられる環境が良いと思いますが、余りにもゆとりが過ぎるのではないのかなど、色々な思いがあります。

その辺りについて、そろそろ地域全体で考える時期ではないかと思います。

自治会の立場で言えば、地域の学校が無くなるという事は、すごく辛いことかなと思うのですが、旧市内の中心部でも、ドーナツ化現象によって、中学校の生徒数がかなり減ってきている状況です。

そうした中で、クラブ活動もまともに出来ない学校も出ていますので、その辺りを行政も考えていかないといけない所まで来ていますので、地域もそういった時期に来ているのかなと、最近つくづく思います。

#### 【司会】

ありがとうございました。他に何かありますか。

#### 【市民】

豊田町認定農業者協議会から参加しました。

農業に関連した課題を少し言わせて貰えればと思います。

豊田の農業者は、すごく頑張っていますので、農繁期のこの時期に集会を開催するという事で、私たちの都合に少しでも配慮して頂きたいと思いながら今日は出席いたしました。

以前にも課題として出ていましたが、どうしても農業者の今後の後継者不足というのが大きな課題となっています。

食の安全・安心については、皆さん結構おっしゃられるのですが、農業経営者というものは、サラリーマンなどと比べると、どうも安定感が無いという気がする訳です。

私たち農業従事者への補助金制度も色々あるのですが、どちらかと言えば法人とかそういうものに偏っておりますし、政権が変われば、その内容も極端に変わってしまいます。

それと、大体5年毎の見直しで、どんどん政策の方針が変わっていくという状況も続いているので、それについては色々な思いがあります。

若者が農業に携わろうとすれば、どうしても、ずっと将来を見据えた安定感のある農業政策というものが必要なと思っています。

それからもう1点、今、大規模農家が増えておりますけれども、水路やため池等の保全に関しては、人数が減れば減る程、管理が難しくなります。水路の清掃にしても、人数が少ないので、今後、その辺をどうしていくかといった課題もあります。

今は、国が中山間直接支払補助金を設けていますが、この辺も検討課題かなと思います。

それからもう1点は、やはり鳥獣被害であり、状況はかなりひどくなっています。

美祢市では鳥獣被害対策としてワナも適用されているのですが、下関市ではなかなか適用してもらえないので、農家の方は、自己防衛もできないというような状況です。

収穫の秋を待ち望んで、今から稲を刈ろうという段階で、度々、鳥獣被害に遭って意気消沈してしまうので、この辺も大きな課題かなという風に思っております。

そのため、色々な部分で見直しをして頂けたらと思っております。

**【司会】**

ありがとうございました。それでは婦人会、女性団体が来ていらっしゃるから、こちらで何か動きがあれば。

**【市民】**

下関市豊田地区婦人会から参加しました。よろしくお願いします。

婦人会というよりも、女性の立場として発言させて頂くと、豊田町には女性が集まる場所がありません。先日、菊川町に行きましたら、このように大きな部屋が女性専用の部屋として決められていて、部屋の周りに棚があるので、荷物も置けるようになっていました。ここは良いなと思えました。是非、豊田町にもそういった女性の部屋を作ってもらいたいなと思えます。

それと、色々なイベントに参加しておりますが、前準備を行える部屋が無いので、色々な所をお願いして、時には嫌な思いもしますし、保健所からも色々と言われたりしながら、苦労してやっています。

そのため、保健所の許可も取れるきちんとした場所、女性部の方ならどなたでも集まることができる場所が出来たら良いなと思っております。

それで、今、婦人会では、まちおこしに頑張っております、銭太鼓のグループを作っています。どこにでも出て行こうと思っておりますが、なかなか認知されていないため、お声を掛けてもらえる機会が少ない状況なので、お祭りなんかにも呼んで頂きたいと思えます。よろしくお願いします。

**【司会】**

ありがとうございました。他にどなたか、ご意見をどうぞ。

**【市民】**

下関市豊田地区民生児童委員協議会の会長をしています。

私は、豊田町の民生委員をやりながら、会長職を12年間やっております。

豊田町全体に住んでいる方は、私が就任した頃は約7,800人でしたが、現在は5,800人と大幅に減少しています。しかし、この間の推移がどうなっているかと言うと、人口は大幅に減ってきていますが、世帯数はほとんど減っていないで、30世帯くらいの減少でしょうか。

どういう事かと言うと、今は1軒の家には一人、二人しか住んでいないという事です。

私の家は、この近くにありますが、家まで事務証明に来られる方がいらっしゃいます。印鑑を押して下さいと。住所と名前を見ますと、この近所の方ではなくて殿居地区の方だなど思っていたら、若い方は実家からこの辺りの市営住宅に出ているとの事でした。

やはり、今の時代の現象として、親と同居される方は少ないなと感じております。

それと、民生委員は豊田に29名いらっしゃるの、各委員の家まで書類を持っていくとなると半日掛ってしまいますので、全員分を郵送で配っています。

## 豊田地区まちづくり集会（H25.9.15 開催）

その際に、色々と町内を見てもみますと、豊田西中学校が廃校になっているので、豊田中地区の人に聞くと、敷地の草刈りなどは、教育委員会から地元の人をお願いされているらしいのですが、後々は地元で管理するのも難しくなるだろうとの事でした。

廃校となった学校をどうするか、有効活用なんかを皆で考えて行かないといけないなと思いました。

特に、一の俣地区への配布物があった際に聞いた話ですが、昔の殿居小学校一の俣分校が温泉施設として使われていたのですが、現在は崩れかかっているとの事でした。

おまけに、その隣の建物は、昔は職員の社宅でしたが、いまにも崩れそうなので、早く対策をしないといけないのではと思っています。

廃校になった中学校も同じで、合併後、跡地をどうするのかという事くらいは、行政が慎重に考えて頂きたい。

それと、豊田町では一昨年に孤独死が3件発生し、いずれも民生委員の訪問によって発見されました。

だから、その方たちも、死亡される前、買い物の支援を行った日から逆算すると4日も経過しています。

もう1件は、仕事の関係で外出した際に、そのお宅をちらっと見たのですが、近所の方から、郵便受けに新聞が沢山に溜まっているとの連絡があって、警察と一緒にそのお宅に行きましたら、既に死亡して3日も経過していました。

現在は、別に見守り隊というのができましたが、非常に高齢化が進む中、今からの問題も生まれてくるのではないかなと危惧しています。

それと、中村地区はきちんとしているので、高校の職員住宅、今も入っている方がいますが、ゴミの出し方が悪いという民生委員もいます。

また、県の職員住宅がありますが、ここは草だらけで、市では無いですが行政として少し問題があるのではないかと感じています。

行政は、地域内分権という格好は良いでしょうが、私は行政の丸投げではないかと感じています。厳しい意見だと思うかもしれませんが、そう思っています。

### 【司会】

ありがとうございました。スポーツ関係で何かありませんか。

### 【市民】

豊田中いなほクラブから参加させてもらっています。

先ほどから若干、意見も出ていますが、一昨年、豊田西中学校が廃校になりまして、その跡地の利用について、行政の方にお問い合わせなり、質問なりをしたいと思えます。

豊田の地域に、地域コミュニティを作るということで、5年前に総合型スポーツクラブを起ち上げました。そこで、少人数のクラブではありますけど、様々なイベントをしながら、小中学校の施設開放も利用しながら、今、イベントを開催しているところです。

その中学校跡地のグラウンドについてですが、これが見るに無惨なほどに荒廃していて、今年は、私たちが2回ほど草刈りをしながら、グラウンドを使用しているという現状です。

幸いにも、今年は市から若干の予算を付けて頂いたので、管理する側としても、若干の



余裕が出てきました。

しかし、グラウンド内であれば、使う側の私たちでグラウンドの管理をすべきだと思いますが、グラウンドの周りを見ると草だらけで、とてもひどい状況です。

先ほども言われておりましたが、廃校舎の利用について、市はどのように考えているのか。私たちのプランとして、部屋を一室貸して頂きたいということです。

これをハウスとして利用したいと行政に頼んだところ、それは許可できないという回答を頂きました。

スポーツクラブを作るまでは、行政からも色々と指導いただきながら進めてきて、こういったクラブにできたことは、本当に良かったと思っていますし、今後も行政と二人三脚でやっていけば良いのだろうと思っていたのですが、行政は作るまでの協力、後方支援はしてくれましたが、作った後の支援については、立ち後れると言いますか、遠ざかってしまう訳です。

あなた達のクラブですから、自分達でどうにかして下さい、これはしてはいけません、ここはこの程度ですよと言われる事が多いように感じます。

先ほど、生涯学習センターは豊田町の顔だという話もありましたが、豊田には総合グラウンドもありません。豊北町、菊川町、豊浦町には総合グラウンドとして、球技場、体育館等それぞれが揃っている訳ですが、豊田町にはそういった体育館、又は総合グラウンドとして、人の集まる場所が無い訳ですね。

そのため、イベントをするにしても、小規模なイベントしかできません。

だから豊田町、私は正直に言うと、総合型スポーツクラブというものは、豊田中地区につくるよりも、豊田の中心である西市地区に作って貰いたい。

一番の中心は、やはり豊田では西市だと思っていますので、西市に総合型スポーツクラブを作って、そこから各5地域に、会員を育てながら広げていくという風な形にすれば、地域の活性化も少しずつしていくのだろうなと思います。

そのためにも、行政には今後とも、できるだけの後方支援をお願いしたいと思っていますので、そういった事に対しての後方支援を、行政がどこまで出来るものかについてお伺いしてみたいと思っています。

#### 【司会】

ありがとうございました。まだ色々ご意見があるかと思いますが、時間もかなり経過しておりますので、一応、課題については、ここで終わらせて頂きたいと思います。

それでは地域の課題が出て参りました。

前のスクリーンに総合支所長の権限とか、美しい自然の維持、生涯学習センター、競争力、農業関係、婦人の集まれる場所、それに学校の跡地と体育館、総合グラウンドの関係、合計で8点ばかりの課題が出ております。

全部を協議というのは難しいかと思いますが、本日は色々なご意見を頂いたのですが、総合支所長の権限というのは、一旦、置きたいと思います。

まず環境問題、美しい自然を維持できているのかということでした。

時間内での作業等もあろうかと思いますが、環境について、今聞いた範囲の中で、何か

良い解決策があれば、ご意見を頂ければと思います。

各自治会でも高齢化によって、自治会内での作業も難しいという部分もありますが、今の所は、何とか出来ているといった状況だと思っております。今後は、難しくなってくるのではないかと思います、それについてご意見があれば挙手をお願いしたいと思います。

【市民】

私の集落では、農地・水・環境保全として補助金が出ておりますが、それを利用しながら集落ぐるみで、農業者だけではなく全員が参加するという形で、畔道や農道、それから私道の草刈りなどを実施しています。

参加された方には日当を出すということで、かなりの参加者がいます。

以前は、作業をする人の数が不足していたのですが、日当を出すということで、かなり参加が増えています。作業の後は、自己負担にはなりますが、懇親を深めるための飲み会もたまに開催をしています。

ただ、自治会の世帯も高齢者が多くなっていますので、いつまで続けられるかという課題があります。現状では、うまくいっていると思っています。

【司会】

ありがとうございました。どなたか他にご意見がありますか。

先ほど、ご意見のありました教育の関係で、中学校は統合されましたが、小学校は4校あるということで、中には児童数が10人とか20人といった非常に少ない学級があると思います。そういうことで小学校の関係について、ご意見があれば。

地域から小学校が無くなるというのは、年寄りの方にとっては非常に寂しいようでございます。地域の活動拠点と言いますと、そういう所でございますので。

中学校もあれば良いのですが、小学校が残っていれば、そこが活動拠点になりますので、小学校まで統合するとなると、無くなる所がほとんどでしょうから、非常に寂しい思いはします。

将来の子ども達の競争力と言いますか、40人の中の一番か、2人しかいない中でも一番かということで、同じ一番でも2人の場合には競争力が無いと言いますか。その辺で、いずれは統合も必要ではないかと思いますが、それについてご意見があれば。

【市民】

地域にとって、学校というのは子どもの教育の場だけではなくて、地域活性化の一つの拠点なんです。それでも学校が無くなるという事は、やむを得ない事情があるのでしょうか。子どもにとっての良い環境とは何かということになると、少人数で良いのか、それとも、もう少し競争力のある学校へと行かせてあげるのか。

考え方は色々あるのですが、統合というのは、やむを得ない時代の流れかと思えます。その際には、統合した後の跡地をどうするのか、その辺を含めての付帯条件をつけるようにすればと考えています。

勿論、地域の要望もあると思いますが、まず統合して、他の事はそれから考えれば良いというのではなくて、廃校となった後、どのような見通しを考えているのか、その後の整備をどうするのか、どの位の予算が必要なのかなど、その辺まで、廃校する際の大きな条

件として考えておかないといけないのではないかと思います。

私も、昔通った学校が無くなれば寂しく思いますが、その辺もきちんとすべきだと思います。町の時代には、その見通しをきちんとやってきましたので、その辺が必要だと思います。

【司会】

ありがとうございました。まだ学校関係。

【市民】

ちょっとよろしいですか。

私は、民間企業に勤めていましたので、そういった視点から、学校関係について意見を述べたいと思います。

やはり、学校の統合については考えていくべきだと思います。

豊田町内ではありませんが、現在、校長先生や教頭先生を入れても16人程度の学校があつて、これに用務員も加わります。

こういった効率性のない経費、無駄な経費というのは省くべきではないかと思います。

その学校は、確か複式学級の3学級ですから1年生、2年生は同じ学級です。

そういった状況を実際に見ますと、私は民間企業出身ですから、こういったものを計画的に潰して統合するというのを現在までやってきました。

今のまま、うやむやにしている、そのうち10人や12人になったという学校もあるはずです。

だから、もう1度、これについて行政も良く検討してもらおう。

今のままの状態が続けば、確かに地元の人には喜ぶでしょう。

学校は文化の拠点だと言われる方もいらっしゃるでしょうが、もう一度、大きな目で見て頂いて欲しい。

私は、学校を統合して、通学用バスをタクシーのように走らせた方が良いのではないかと考えています。

これは、私の個人的な経験からお話させて頂きましたので、参考として聴いて頂ければと思います。

【司会】

ありがとうございました。他に何かご意見は。

農業関係の後継者不足、イノシシやシカの鳥獣被害も、この地区では非常に多くございます。カラスも結構いますし、サルもいます。

最近、私たちの農地に良く出てきて、農作物を荒らします。特にサルは大群で出ますから、かなりの被害があるという状況ですが、対策への良い案も無いのですが、農業関係で、皆さんから何か良いご意見でもあれば。

農家の後継ぎというの、政治家の子供は、みな政治家になるけど、農業、百姓の子は別の道に進んで、農業をしないことが多い。

それではいけないと思いますが、なかなか難しい面もあります。

何かご意見でもあれば。

無い様であれば、最初のご意見まで戻りまして、総合支所長の権限ということで、先ほど公募制というご意見もありました。

ちょっと無理な意見かもしれませんが、先ほど下関市商工会豊田支部の方が言われましたので、ちょっと触れてみたいと思います。

【市民】

別に、無理という意味で言った訳ではないのですが、基準をはっきりとすれば、私は面白いと思ったのです。正直、こういう言い方をしたらあれですけども、押し付けられた支所長よりも、よっぽどスッキリするのかなと思いますし、こういった方の権限を強化して頂いた方が、地域分権も進んでいくという、檜原ゆうあい会からのご意見に賛同しますので、その辺をどうお考えなのかということが聞きたかったです。

【司会】

それは橋本大阪市長が、区長の公募をされている。その辺で、可能かどうか分かりませんが、檜原ゆうあい会なりに、考えがあるのであれば。

【市民】

私がここでやりましょうといった話ではなくて、こういった事は、議会で決めればできることですから、そんなに難しいことはありません。

【司会】

地域内分権という言葉は、非常に良いのですね。しかし、本当に分権なのかというと、全然、分権ではない。

分権というものは、権利と共に予算もつけないと、いくら口で分権と言ったとしても、最終的な予算権限が無いのだから。

豊田地域、各総合支所地域で、極端な事を言えば特別待遇みたいなもので、合併前の全部の権限が網羅されていれば、本当の分権でしょうが、ただ言葉だけで、形は良く見えますが、実質、どうなっているのかと皆さんも思われているでしょう。

その辺がちょっと、もっと権限というのでは無くて、予算が付かないと駄目だと思います。

他にどなたかご意見が。

【市民】

今の考えについてですが、私は、予算だけでは無いとっていて、人だと思えます。

要するに、その地域が積極的に動くかどうかです。動けば波紋が広がりますから、それが大切だと思います。

お金は、例えば、下関市に市民活動推進のための補助金というのがあり、600万円の予算でしたが、使い切れなくて500万円台に落ちました。それでも、まだ予算が余っているのですよ。だから、お金では無いのです。

豊田町でも、随分と色々な活動に名乗りを挙げている団体があるのですが、実際は、その予算を使い切れてないのです。

だから、私たちがもっと活動するから補助金が欲しいというと、市民活動の担当課からは補助金が貰えます。

【司会】

それでは、時間もかなり経過してきておりますが、スポーツ関係、大きな課題としては、現在、豊田町内に総合グラウンドが無いということでした。

この事で、ご意見があればお願いします。

菊川、豊浦、豊北にはホームグラウンドがあるということで、合併前までは、豊田でも総合グラウンドを作ろうといった話もあったのですが、途中で立ち消えになっています。

ご意見があれば、ご発言を頂きたいと思います。

どなたか、スポーツ関係でなくても結構ですが、廃校になった中学校の施設なんかを利用して、うまく整備してもらえれば、豊北や菊川のような立派な総合グラウンドにはならないかも分かりませんが、何か校舎をもうちょっと解体して、若干でも広くして、総合的に使えるような設備にして頂ければ、そうすれば予算的にも、かなり安価にできるのではと思っています。

【市民】

私は、将来を考えたら道の駅、あの前の辺に、相当大きな総合グラウンドを造って欲しいですね。やっぱり、あそこを中心として、皆が寄ることができる。

先ほど、大きなスポーツ大会ができないといった発言がありましたが、特にお盆の時期に、何か開催することができれば、豊田町の中心が見えるのかなと思います。

なんとか将来的なことを考えて、大きな予算を持ってくることができるようにならないかなと思います。それまでは、しっかり豊田のスポーツを盛り上げていかなきゃいけないと思いますけれど、ちょっとそういう思いがしております。

【司会】

ありがとうございました。

【市民】

何度も発言して、申し訳ありません。

豊田町だけの枠組みで物事を考えると5年、10年先どうにもならない。

今の時点でという話ではなくて、下関市で、この豊田町がどう生きていくのかという総合計画の話なのでしょうが、そういう枠組みで決めないといけない。

ここに文化施設があれば、人は集まるのです。現実には、県立大学の出前講座がここでありましたが、この施設に入りきれなくて隣の図書館を利用しました。

だから、旧市内の中心街からここを見れば僻地であっても、下関だけでなく、長門市や美祢市までと考えれば、この豊田町が中心地になるのです。

そういった発想で、総合的な施設、或いは、この町をどう活かしていくのかと考えるべきで、それがまちづくり会議、協議会の役割になってくるのではという気がします。

ですから、今は沢山の会議があつて、もうこれ以上出たくないと思うくらい本当に困っています。一番忙しい時期ですが、こういった会議があると、大切だからと思って出てきたのです。

あえて言わせてもらえば、国道491号の一部が山道になっています。でも、この道が道路改良されて長門市まで抜けられるようになると、人の流れが全部変わってきます。

今の豊田町の幹線道路は、県道34号下関長門線ですが、豊田湖の周辺から尻すぼみになっていて、原因としては、長門市が下関市の行政区の中に入っていないからだと私は思います。

ですから将来的には長門市もこの下関の中に、合併は無理にしても、連携の取れた町にするべきだと思います。だから、県道の整備を豊田湖までで止めるのではなく、国道191号、いわゆる日本海側と木屋川の流れを長門市で結ぶというような形にすれば、豊田町もまだまだ発展し、生きてゆける道があると思っています。併せて美祢も非常に近い。

#### 【司会】

ありがとうございます。それでは、まだまだご意見はあろうかと思いますが、かなり時間を経過しておりますので、ここで終わりたいと思います。

最後に、本日、皆さまのご意見を整理したスライドを見ていただきながら、この集会の総括ということで終わらせていただきたいと思います。

今日、出ました地域の課題は、一番上から順に読みますと、1番目が総合支所長にもつと権限をとということで、2番目が美しい自然を維持できるか。中山間の補助事業の中で作業を共同でして、そのあと交流する。非常に良い事でございますので、それでいきたいと思えます。その次が、文化面では生涯学習センターの運営。運営協議会があるのかどうかということ。それから教育関係については今、小学生児童が少ない中で、競争力がどうかという問題です。それで産業関係が農業の後継者問題、鳥獣の被害という課題になっております。その他婦人会からは婦人の集まれる場所が欲しいという要望。それから公共施設の跡地の管理、利用の問題。それから先ほど出ましたように長門・美祢との連携。それからスポーツ関係は体育館、総合グラウンドを西市に作ってはどうかというようなことが出ております。以上でございます。

そういう事で、なかなか良い集会にはならなかったと思えますけれども、一応これで終わりたいと思います。また来年もあるようでございますので、1年間よく考えてもらって、また良いご意見でも出ればと思えます。きょうは予定の時間となりましたので、以上で終わりたいと思います。本日は、本当に農繁期のお忙しい中を、ご参加いただきまして、私からもお礼を申し上げたいと思えます。本当にありがとうございました。

#### 【市】

今、沢山の課題を出していただき、前のスクリーンに整理させて頂いています。

今、これらの課題で、なぜ行政はやってくれないんだとか、これをやってくれたら良いのに、この対応が一番遅れているという所だと思うのですが、前の表に示しているように、これらの課題を地域で解決するとしたら、解決方法は、本当に無いのかということですね。

それらを、皆さんに考えて貰うきっかけにしていきたいと思っています。

表の一番上からいきましょうか。一番頭で言えば、たまたま総合支所長に代わるような権限がある人、それって単に自分たちで雇えば良いのですよね。きちんと自分たちが、豊田地区の総合コーディネーターを持てば良いのですよ。それだけ総合的な認識のある人、お金は掛かりますが。でも、そうやって地域のために考えるのであれば、総合支所長とい

う職の方もいますので、自分たち自身で、それに対する地域を総合的に考える人を持てばいい。その地域で、互選制をとっても良い。例えばそういうことありますよね。

それが答えという訳ではないですが、例えば、今あった自然に関するご意見で言えば、自然パトロール隊を作るとか、草刈りをするための新しい組織を持つ。そういう仕組みがあるかもしれない。

それから、生涯学習センターの運営協議会を地域に持っていない。自分たちで自主協議会を持てば良いかもしれない。

公民館がなく、新しく造ることも難しいかもしれないが、公民館が無いことによって、今、自分たちが不利益を被っている中身を解決するための、例えば相談員を持つとか、調整役を持つとか。公民館が無いから、イベント準備などがうまくできない。では、どういった形で準備をしようとか。例えば、女性が調理する場所が無い。では、自分たちでそういう場を持って、廃屋を1軒借りて、ここに集まってしまうとか。もしかしたら、例えば考えていくことができるかもしれない。

農業の後継者不足。市が後継者不足の課題に対して、何らかの次世代育成事業をしていると言いながらも、そんなに悠長なことでは間に合わない。だから、せっかく、これだけ自然や楽しい場所、恵みの多い所なので、なんらかの新しい何かを作る、そういったものを自分たちで運営したら良いのではないとか、色々なことがあるかも知れませんが。

教育で競争力が落ちてきたら、学校の先生、退職された方もいらっしゃるのだから、自分たちで、そういうのを持てばいい。そうやって、そういう風な寺小屋を作れば良いことかもしれない。

行政に解決を頼っていたのでは、いつになるか分からないけれど、要望書を出してさえおけば、いつかはやってくれるのではないか。

そうしている内に、いつの間にか、それが自分達の責任では無くなって、それでも良いかもしれないと思っていたとしても、知らないうちに時間だけ過ぎて、地域力が落ちてしまっている。

でも、それではいけないのではないかと考えていけば、もしかしたら、一つでも地域で解決するきっかけを持てるかもしれない。

そういう事に対して、きちんとした意識を持って取り組んでいただければ、もしかしたら、行政も何か支援ができるかもしれない。今まで支援していた事を止めてでも、そっちに切り替えることが出来るかもしれない。

廃校となった学校の跡地利用についても、もしかしたら、今、スポーツ団体の方だけが言っておられるのであれば、なかなか行政も答えてくれないかもしれませんが、地域全体で、なぜこのようなことをやってくれないのか、きちんとこうしてくれ、管理の仕組みをこのように変えてくれたら、教育委員会だけの問題ではなくて、市全体、行政の中で制度を改正するかもしれない。

例えば、豊田に総合グラウンドが無いのであれば、他の全国的に大きな町でいうと、東京都の区で言えば、大きな施設は無いので、他の区にちゃんと確保したりします。

東京都で言えば、他の区に総合グラウンドを確保して、そこは自分たちの区も使うこと

ができる。

例えば、今の例外にもなるかもしれませんが、基本的には、市の中で一番立派な下関球場なんかでも、特定の日は豊田の日として、全面を使わせてもらおうとか、色々な方法があるかもしれないのですよ。

でもそれって、誰かがしてくれるかとも思っているだけでは、いつまでもあり得ない話ですよ。

行政も全部の施設を管理し続けることが難しくなっていますし、新しいものを作るというのは、現在、施設が益々増えてきた中で、新しい施設を作るというよりも、古い施設を少しは減らし、残す施設を制限していきながら、最も重要なものを、何とか大事にしているという時代になっています。

もしかしたら、今、沢山の課題がありながらも、もし自分たちで何かをしようと思ったら、地域の総意としてはできるかもしれないのですよね。

その経費に対して、行政も何らかの支援ができるかもしれない。

そういう中で新しい形を考えていくのに、今回の議題である地域の活性化は、非常に、この豊田地区の中では大事な問題として意味があると思いますので、それらを今、私たちも、今日お聞きしたからといって、私たちが直ぐに解決できる訳ではないので、こういった事を一つでも、二つでも、本当に地域として解決するきっかけとしての新しいまちづくり会議なんかを構成しながら、やってみようじゃないかと。

そして、コーディネーターの様な方を持ってみようじゃないかと。

そういった展開を、大きなお金ではないですが、何か動きができれば、こちらも新しい動きの中で、地域づくり、地域を支え得る形が出来るのではないかと考えています。

法外な、逆パターンでのお話となって申し訳ないのですが、ヒントとしては、そういうところの中から、これからのまちづくりを考えていかないと、頼っていたら、いつかしてくれる、いつかやってくれるのではないかというスタイルではなかなか難しい。

私たちも、残念ながら、もしかしたら、そのまま時間だけ過ぎ去ってしまう怖さを、非常に厳しい財政的な中で考えておりますので、是非、地域がそういうことで何かを一つでも、二つでも、解決しようという動きの中で、新しい行政との関係が出てくるのを期待したいと思っております。

#### 【市】

それでは、本日はお忙しい中、ご参加を頂きまして、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、豊田地区まちづくり集会の全日程を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。